



十条富士見中だより

平成27年4月発行

校長 高木 潤也

着任のご挨拶

4月1日付をもちまして、第3代校長として着任いたしました。十条中学校、富士見中学校の統合校として、それぞれの長い歴史を受け継ぎ、地域の皆様からさまざまな面でご支援いただいている学校と聞いてまいりました。

地域の皆様、保護者の皆様との連携を深め、さらに発展させるよう全教職員で力を合わせて教育活動を推進していきます。これまで同様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

出会いの季節平成27年度がスタートしました。

新入生112名、2年生136名、3年生155名、合計403名でのスタートとなりました。

入学式は57名ものご来賓の方々にご臨席いただき、初々しい新入生を迎える式にふさわしく、厳粛な中にも和やかな雰囲気の中で挙行されました。地域の皆様、保護者の皆様のおかげで素晴らしい入学式になりました。御礼申し上げます。



入学式では、式辞の中で新入生の皆さんに三つのことを話しました。一つ目は、毎日の授業に集中して取り組み、勉強の基礎基本をしっかりと身に付けてほしいということです。言うまでもなく学校で最も大切なのは勉強です。大人になったとき自分の夢を実現できるように、また、よりよい人生を送れるように3年間の中で、しっかりと学力を身に付け、一生涯学び続けるための大切な基礎を培ってください。

二つ目は礼儀を正しくして、人を思いやれる人になってほしいということです。全校で403名の生徒がこの学校で生活しています。一人一人が自分勝手なことをしては、

学校は成り立ちません。学級という社会、学年という社会、学校という社会、地域という社会の中で互いを尊重しながら生きる力を身に付けることも中学校の大きな目的の一つです。

三つ目は一人一人が誇りをもって生活してほしいということです。人はそれぞれ得意なことや不得意なことがあります。全てができるという人はいないと思います。一人一人が優れた部分をもった大切な生徒であり人だということです。うぬぼれるということではなく、自分を大切だと思える人でいてください。

これらのことを心にとめて、充実した中学校生活を送ってほしいと思います。

今年度十条富士見中学校の教育方針

◎ 目指す学校像 生徒像 教師像

○学校像

- (1) 基礎的・基本的な学力の確実な定着を目指す学校
- (2) 豊かな心の育成と規範意識の確立を目指す学校
- (3) 保護者・地域から信頼され「地域が誇れる」学校

○生徒像

- (1) 毎日の授業と家庭学習にしっかり取り組み、自ら向上しようとする生徒
- (2) 礼節を重んじ、進んで挨拶することができる生徒
- (3) 他人を尊重するとともに、自己肯定感をもつことができる生徒

○教師像

- (1) 理論と実践を重んじ、生徒一人一人の能力を伸ばしようとする教師
- (2) 職務に真剣に取り組み、生徒からも保護者・地域からも信頼される教師
- (3) 常に自己を高めるために研修に取り組む教師

- 1 知徳体バランスのとれた生徒の育成を目指します。
- 2 基礎学力の定着に取り組めます。
 - ・ 学力の向上のために、毎日の授業を大切にします。授業規律を重視し、生徒が集中して学習に取り組める環境づくりを行います。
 - ・ 「わかりやすい授業」「学ぶ意欲を高める授業」を行います。
- 3 心身の健康を育むための取組を行います。